

令和元年 6 月 3 日
仙台管区気象台

5 月の東北地方は日照時間が記録的に多くなりました

東北地方の月間日照時間は、5 月としては 1946 年以降の多い方からの 1 位を記録しました。

高気圧に覆われる日が多かったため、東北地方の月間日照時間は、5 月としては 1946 年の統計開始以降の多い方からの 1 位を記録しました（これまでの 1 位は 2015 年）。また、東北地方にある 17 地点の気象台、特別地域気象観測所の全てで、月間日照時間が 5 月としては統計開始以降の多い方からの 1 位を記録しました。

また、東北北部の月平均気温は、5 月としては 1946 年以降の高い方からの 1 位を記録しました（これまでの 1 位は 2015・2016 年）。

詳しくは、下記 URL より、「2019 年 5 月の東北地方の天候」をご覧ください。

仙台管区気象台ホームページ 「2019 年 5 月の東北地方の天候」

https://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhou/houdou/19/20190603_05TukiGaikyou.pdf

問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課

担当：池田・中川 電話：022-297-8177 FAX：022-291-8110

2019 年 5 月の東北地方の天候

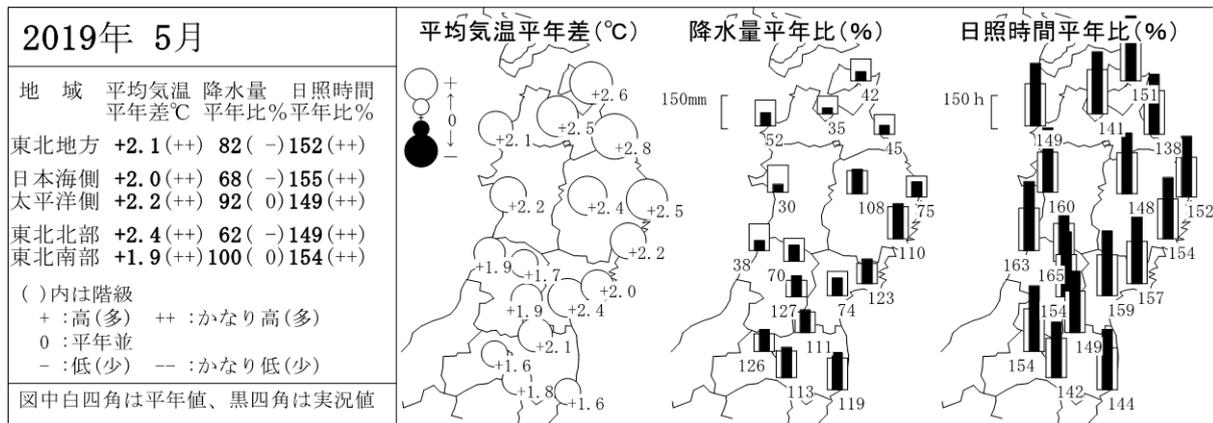
○高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、東北地方の月間日照時間は、5 月としては 1946 年以降の多いほうからの 1 位を記録した。
 ○晴れて強い日射の影響を受けたことや、暖かい空気が流れ込みやすかったため、東北北部の月平均気温は、5 月としては 1946 年以降の高いほうからの 1 位を記録した。

概況

この期間、低気圧は日本の北を通ることが多く、東北地方は高気圧に覆われやすかったため、晴れの日が多かった。東北地方の月間日照時間は平年比 152% とかなり多くなり、5 月としては 1946 年の地域平均の統計開始以降の多い方からの 1 位を記録した(これまでの 1 位は、2015 年の 136%)。東北地方にある 17 地点の気象台、特別地域気象観測所の全てで、月間日照時間が統計開始以降 5 月として多い方からの 1 位を記録した。また、北の低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだことや日本の東で高気圧が強くなり暖かい空気に覆われやすかったことに加え、晴れて強い日射の影響も受けたことから、気温は平年よりかなり高くなった。東北北部の月平均気温は平年差 +2.4℃ で 5 月としては 1946 年の地域平均の統計開始以降の高い方からの 1 位を記録した(これまでの 1 位は、2015・2016 年の +2.2℃)。青森、深浦、むつ、八戸の月平均気温も統計開始以降 5 月として高い方からの 1 位を記録した。大陸から暖かい空気が流れ込んだため、25 日から 27 日にかけては、東北地方の広い範囲で真夏日となり、日最高気温は、26 日には青森で 33.6℃、むつで 31.0℃、八戸で 34.3℃、大船渡で 34.7℃、福島で 35.3℃、白河で 32.9℃、27 日には盛岡で 33.6℃、新庄で 33.9℃、山形で 34.1℃、若松で 35.6℃ と 5 月として高い方からの 1 位を記録した。

6 日と 14 日は湿った空気や上空の寒気の影響などにより、曇りや雨または雷雨となり、太平洋側を中心に大雨となった所があった。21 日は寒冷前線が通過したため、青森県を除く各県で大雨となり、福島県と岩手県で日降水量が 100mm を超えた所があった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間はかなり多い。



平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比の分布

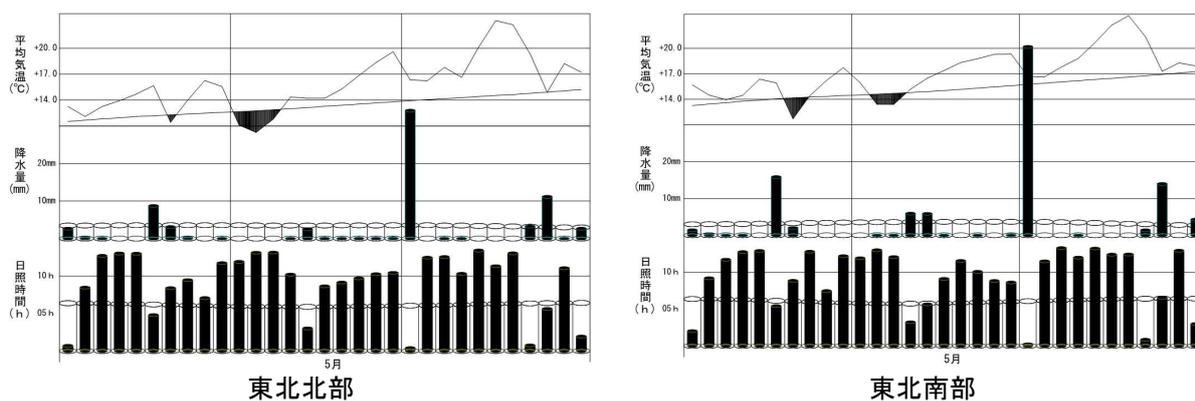
降水量、日照時間平年比分布図の凡例について

降水量、日照時間平年比分布図の各地点の白四角と黒四角はそれぞれ平年値と実況値です。各分布図の左上のスケール(高さ)は、降水量(mm)、日照時間(h)を表します。各地点の数字は平年比(%)です。

注意事項

気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
 細分地域を東北日本海側は青森県津軽・秋田県・山形県・福島県会津、東北太平洋側は青森県下北・三八上北・岩手県・宮城県・福島県中通り・浜通り、東北北部は青森県・秋田県・岩手県、東北南部は宮城県・山形県・福島県としています。

気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は 1981~2010 年です。階級区分は、1981~2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めています。また、値が 1981~2010 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には「かなり高い(多い)」「かなり低い(少ない)」と表現します。



平均気温、降水量、日照時間の経過

左は東北北部、右は東南北部の気象官署の観測値と平年値の地域平均。気温は折れ線が観測値、実線が平年値で、陰影は平年値より低いことを示す。降水量と日照時間は黒円柱が観測値、白円柱が平年値。

2019年5月の極値・順位の更新 (順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	深浦	15.3 =	+2.1	15.3 (2016)	1940	13.2
	青森	15.8	+2.5	15.4 (2016)	1882	13.3
	むつ	14.7	+2.6	14.4 (2016)	1935	12.1
	八戸	15.9	+2.8	15.5 (2016)	1937	13.1
2	大船渡	15.9	+2.2	16.6 (2015)	1964	13.7
	秋田	16.8	+2.2	17.1 (2016)	1883	14.6
	盛岡	16.4	+2.4	16.6 (2015)	1924	14.0
	仙台	17.4	+2.4	18.0 (2015)	1927	15.0
	石巻	16.0	+2.0	16.3 (2015)	1888	14.0
	白河	16.8	+1.8	17.8 (2015)	1940	15.0
3	新庄	16.1	+1.7	16.6 (2015)	1958	14.4
	宮古	15.5	+2.5	15.9 (2015)	1883	13.0
	酒田	17.2	+1.9	17.5 (2016)	1937	15.3
	山形	17.6 =	+1.9	18.6 (2015)	1890	15.7
	福島	18.7	+2.1	19.8 (2015)	1889	16.6

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	秋田	37.0	30	35.5 (1989)	1883	122.8

月間日照時間多い方からの順位更新

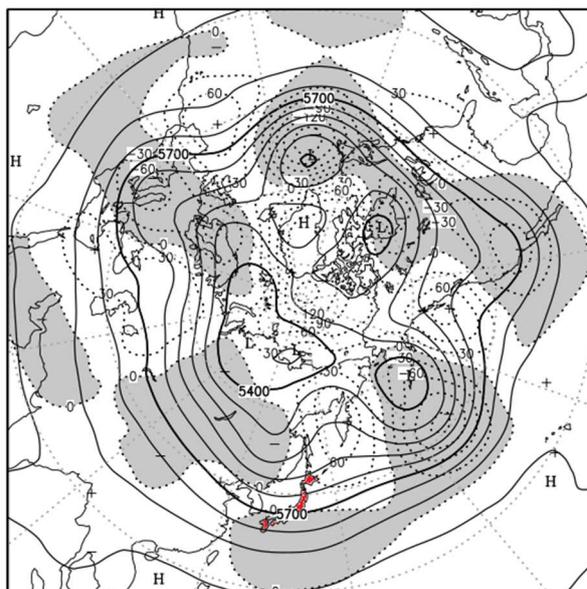
順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	大船渡	278.0	154	256.4 (1969)	1964	180.3
	新庄	281.2	165	260.5 (1964)	1958	170.4
	若松	298.0	154	284.1 (2015)	1954	193.6
	深浦	284.1	149	253.3 (1991)	1940	191.2

循環場の特徴

500hPa 高度は、オホーツク海付近に明瞭な気圧の尾根が見られる一方、中国東北区付近は平年より気圧が低くなった。寒帯前線ジェット気流は日本の北で北に蛇行し、亜熱帯ジェット気流は平年より南を流れたため、日本付近は偏西風が弱かった。これらにより、日本付近は、暖かい空気に覆われやすかった。

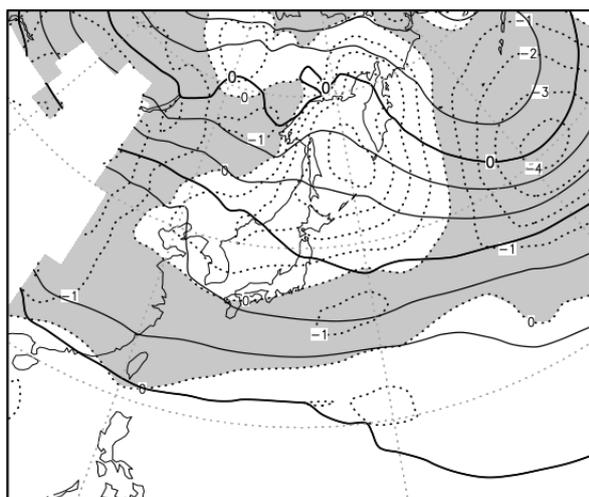
850hPa 気温は、日本付近は平年より高く、暖かい空気に覆われた。また北日本中心に西からの暖かい空気が流れ込みやすかった。

海面気圧は、中国東北区から北海道にかけて平年より低い一方、本州付近は平年より高く、低気圧は日本の北を通ることが多かった。このため、低気圧や前線の影響を受けにくく、高気圧に覆われた日が多かった。



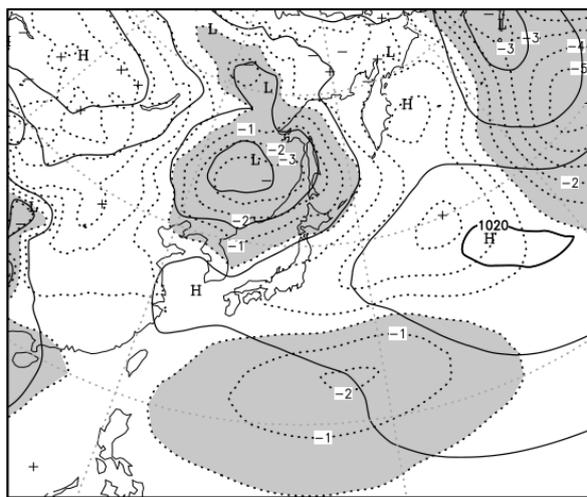
2019年5月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。陰影は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。



2019年5月の平均850hPa気温

実線は気温(°C)、間隔3°C。点線は偏差(°C)、間隔1°C。陰影は負偏差で寒気に対応し、白抜きは正偏差で暖気に対応する。



2019年5月の平均海面気圧

実線は海面気圧(hPa)、間隔4hPa。点線は偏差(hPa)、間隔1hPa。陰影は負偏差、白抜きは正偏差。